

空港グランド

ハンドリング協会

【実施主体:業界】

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】グラハンの業界団体の設立と実効性のある運営	空港グランドハンドリング協会設立	会員50社による協会を設立(従業員数約3万2千人)。常勤事務局体制の設置と月1回の理事会等会議開催を行い、業界の課題にタイムリーに対応する体制。同日に記者会見並びにプレスリリースを実施し、業界の課題認識及び実行計画を発表。	約30社40名のメディアが参加
	協会会員事業者の拡大	都市部・地方部両空港のグラハン事業者に対する協会設立説明会や、現地訪問による意見交換等を踏まえ、会員数拡大を実施。	2月1日時点での会員数は75社(賛助会員3社含む)、従業員数は約3万6千人
	協会組織課題への対応	会員事業者における長時間労働を起因とする労使問題の発生を受け、協会として緊急コメントの発信、実態の調査、時間外労働と労使関係に関する勉強会の開催。	
	各種研修会・会員幹事会の開催	協会会員事業者への受益に資する取り組みの一環として、業界共通課題の各種テーマに沿った研修会を開催。また協会活動報告と会員事業者間の情報交換の場として、会員幹事会を定期的開催。	カスタマーハラスメント対策研修会(11月) 外国人雇用に関するセミナー(11月) 航空を取り巻く情勢に関する講習会(12月) 労働時間管理に関する講習会(1月) 作業安全に関する研修会(2月) 会員幹事会(10月/12月/3月)
【短期】 空港業務の社会的意義等に関する情報発信の強化	協会設立と同時に協会ホームページ開設	ホームページを活用し、課題解決に向けた活動を対外的にアピールすることで、世論形成を呼び起こすなど、更なる課題解決力の向上に繋げる。協会に関する基本情報に加え、新規入会情報や、各活動報告等を更新して掲載。	https://agha.jp/
	協会SNS"X"開設	情報発信のツールとして、ホームページに加えて、協会公式SNS"X"を開設。グラハンにまつわる様々な情報をタイムリーに発信し、学生を含む若年層を中心に、幅広い世代に対してグラハンについて知っていただくきっかけを提供。	https://twitter.com/agha_ip
【短期】 カスタマーハラスメント対策の推進(啓蒙活動の推進等)	カスタマーハラスメントに関する課題認識の発信	設立総会時の記者会見等において、会員事業者共通課題である人手不足の解消に向けたひとつの課題として、カスタマーハラスメントに対して課題認識を有していることを発信。	
	カスタマーハラスメント対策実態調査	協会会員事業者における、カスタマーハラスメント対策の実態について調査を行い、対策推進強化のためのバックデータとして活用。調査結果に関する公表版資料を協会HPIにて公開。	https://agha.jp/file/20240115_1.pdf
	カスタマーハラスメント対策研修会	協会会員事業者向けにカスタマーハラスメント対策研修会を開催。研修内で、実態調査に基づいた業界におけるカスハラの実態と、協会の取組方針を共有したうえで、会員事業者の専門担当者による講義として、カスハラの基本概念の説明や実際に取り入れている対策事例の紹介などを行った。研修会を通じて、会員事業者内の啓蒙活動につなげるとともに、協会としての具体的なカスハラ対策を検討。	約260名が参加

【短期】 カスタマーハラスメント対策の推進(啓蒙活動の推進 等)	カスタマーハラスメントポスター掲示	羽田空港における旅客カウンターエリアにて、関係省庁発行の「STOP! カスタマーハラスメント」ポスターの掲示やデジタルサイネージでの投影に関する調整を全国空港事業者協会や空ハン協会、空協と連携して行い、順次掲示及び投影を開始。	
	関連団体との意見交換実施	協会と関係団体の課題認識のすり合わせを実施し、今後の具体的活動に参画していく考えを明示する。これまでに航空連合、定期航空協会、全国空港事業者協会、日本カスタマーハラスメント対応協会とカスハラに関する意見交換実施。	
【短期】 賃上げを含む処遇改善のために不可欠な受託料の引き上げ	賃上げを含む処遇改善のために不可欠な受託料の引き上げの重要性発信	「第8回空港業務の持続的発展に向けたあり方検討会」に参加。当該検討会における空港グランドハンドリング協会資料において、賃上げを含む処遇改善のために不可欠な受託料の引き上げの重要性を発信。	https://agha.jp/file/20231005_report.pdf
	処遇改善実施状況調査	協会会員事業者における処遇改善の実施状況について調査を実施。	
	産業界内労使懇談会開催	空港グランドハンドリング協会と航空連合にて、業界初となる産業界内労使懇談会を開催し、処遇改善に関するテーマを含めた意見交換を実施し、協会の取組方針についても共有。	https://agha.jp/file/20240125.pdf
【短期】 人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化(キャンセル料の設定 等)	人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化の重要性発信	「第8回空港業務の持続的発展に向けたあり方検討会」に参加。当該検討会における空港グランドハンドリング協会資料において、人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化の重要性を発信。	https://agha.jp/file/20231005_report.pdf
【中期】 系列ごとに異なる資格や車両使用等の見直し・業界ルールの整備	航空会社協調施策プロジェクトへの参画	航空会社が協調して進める、両社同一委託先における作業資格の相互承認プロジェクトに協会事務局が参画。	https://press.ial.co.jp/ja/release/202311/007774.html
【中期】 空港見学会への協力を通じたグラハンや保安検査を目指す若者の裾野拡大	ランプハンドリング競技会視察参加	第2回成田国際空港ランプハンドリング競技会へ参加し、競技視察のほか、招待されていた専門学生や先生方とも交流。大会視察の様子は協会SNSでも発信。	
	中学生校外学習における空港見学会参加	成田空港にて開催された、千葉県内の中学生校外学習における空港見学会に参加し、グラハン業務に関する説明を会員事業者の協力の元で実施。	
	進路指導高校教諭を対象とした空港業務視察会参加	羽田空港にて開催された、日本航空学園主催の進路指導高校教諭を対象とした空港業務視察会において、グラハン業務の現場見学に参加するとともに、グラハンの魅力に関する説明を実施。	
	専門学校との意見交換実施	全国の航空専門学校を順次訪問し、グラハンを目指す若者の裾野拡大に向けて連携可能な取り組みについて意見交換を実施。産学連携に関する次年度のアクション検討に繋げる。これまでに、日本航空学園、中日本航空専門学校、西日本アカデミー航空専門学校、ホスピタリティーツーリズム専門学校、成田国際航空専門学校を訪問。	
【中期】 男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進(「旅客は女性」等のイメージの払拭、更衣室等の施設整備 等)	R5補正予算における補助事業活用促進	R5補正予算における補助事業において、職場環境整備を含む処遇改善に係る内容が盛り込まれたことを、会員幹事会や研修会において前広に周知し、活用促進を図った。	

<p>【中期】 男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進(「旅客は女性」等のイメージの払拭、更衣室等の施設整備 等)</p>	<p>産業内労使懇談会開催</p>	<p>空港グランドハンドリング協会と航空連合にて、業界初となる産業内労使懇談会を開催し、働き方に関するテーマを含めた意見交換を実施。</p>	<p>https://agha.jp/file/20240125.pdf</p>
--	-------------------	--	--